第 13 回 新潟こころの発達医学セミナー開催報告書

はじめに

新潟大学「こころの発達医学センター」は、こころの発達についての研究を進めているとともに、その啓発活動や発達医学領域の人材育成に努めています。その一環として、一般の方々、学生、研修医、医療・教育・福祉関係者を対象に、「新潟こころの発達医学セミナー」の第 13 回目を 2021 年 6 月 26 日に開催しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、昨年はセミナー自体が延期になりましたが、本年はオンライン形式で開催しました。多くの聴講者が参加し、活発な議論が交わされ、この分野に対する社会的関心の高さが伺えました。

参加者内訳	（人）
医療関係者	51
教育関係者	41
福祉関係者	54
学生	16
一般	22
計	184

セミナーの様子

本セミナーではシンポジウム「発達障害児者の就労支援の実際」を新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野特任准教授の江川純先生を座長として行い、続いて特別講演を同教授の染矢俊幸先生を座長に信州大学子どものこころの発達医学教室教授の本田秀夫先生を講師としてお招きして行いました。また、新潟大学学長の牛木辰男先生、新潟県福祉保健部長の松本晴樹先生にそれぞれ開会および閉会のあいさつを頂きました。

シンポジウム
「発達障害児者の就労支援の実際」

演者

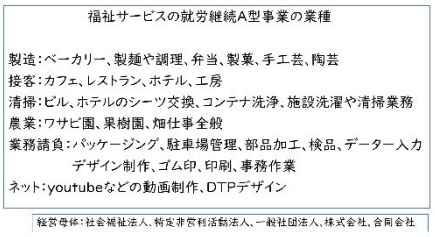
角田千里　先生（就労移行支援事業所「ワーキングサポートセンタースタンバイ」　センター長）

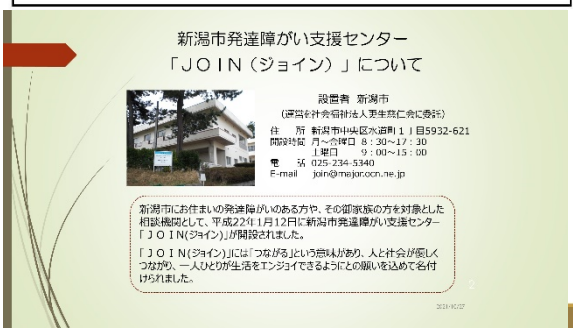
貝沼静江　先生（新潟市障がい者基幹相談支援センター西　相談支援専門員）

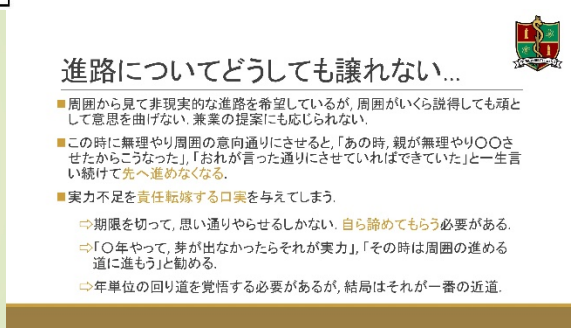
高橋京子　先生（新潟市発達障がい支援センターJOIN　センター長）

杉本篤言　先生（新潟大学大学院医歯学総合研究科地域精神医療学寄附講座　特任講師）

発達障害児の就労支援に様々な角度から携わっている 4 人の先生方からお話を頂きました。新潟県内の実情について、どのような就労支援の場があるのか、どのような支援を受けられるのか、就労に向けてどのような障壁があるのか、それらをどう乗り越えて就労に繋がることができるのかなど様々なお話を聞くことができました。







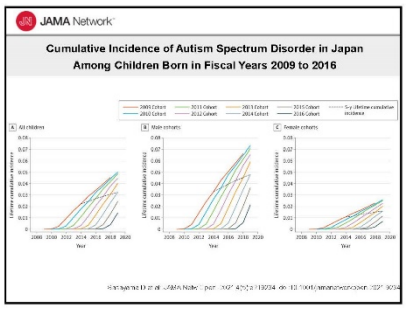
特別講演

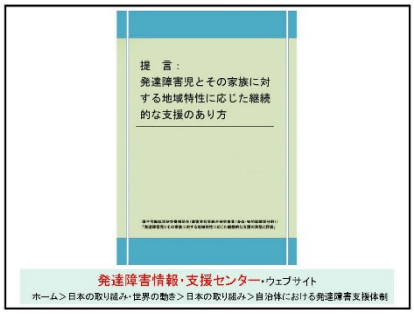
「自治体と大学の協働による発達障害の地域支援体制づくり」

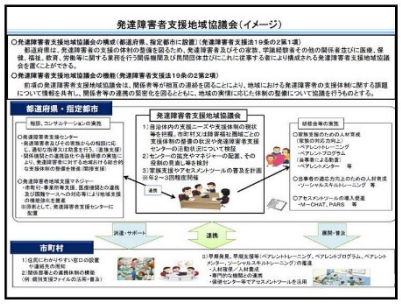
本田秀夫先生

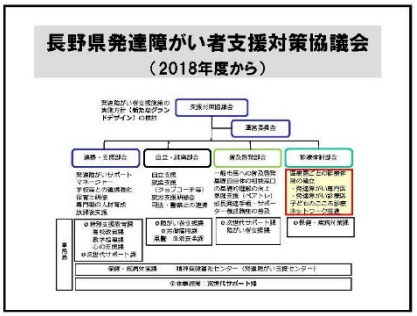
（信州大学子どものこころの発達医学教室教授）

本田先生は日本を代表する児童精神科医です。平成 30 年度より長野県と信州大学の協働により行われている「長野県発達障がい診療人材育成事業」について御講演頂き、新潟県でできる取り組みについて、議論することができました。質疑の際の座長の染矢先生とのやり取りでも大変示唆に富むお話を頂けました。一般の方から専門職まで様々な人たちに分かりやすく、今後の新潟県の発達障害者における就労支援に希望を与えるお話を頂くことができました。









おわりに

以上、第 13 回セミナーの様子を簡単にご報告させていただきました。
今後も定期的にセミナーを開催し、子どものこころに関する最新の知見や
新潟大学精神医学教室の研究内容などを皆様にお伝えし、
意見情報交換などを行える場として、
地域に根差した活動を行っていきたいと思っております。

主催
新潟こころの発達医学研究会

協賛
グラクソ・スミス・クライン株式会社、武田薬品工業株式会社、ファイザー株式会社、
エーザイ株式会社、Meiji Seika ファルマ株式会社、ヤンセンファーマ株式会社、
ノーベルファーマ株式会社、株式会社ツムラ、持田製薬株式会社、
吉富薬品株式会社、大塚製薬株式会社、大日本住友製薬株式会社、
EA ファーマ株式会社、新潟大学協和会
（敬称略・順不同）